

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名: まきいっプラスのいのち教室

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容はありますか
1 利用定員が指導員数等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2 職員の数配置は適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
3 生活空間は、本人にわかりやすく構成された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	手すりを設置してある。階段を昇降する際はスタッフが必ず付き添いで安全に利用できるように努めている。	事業所が2階にあり階段を利用しないと来所が難しい。
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごす環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)など、職員が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	外部の研修だけでなくスキルアップ目的とした社内研修を行っている。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
11 子どもへの適切な支援を行うため、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
12 子どもへの適切な支援を行うため、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	活動プログラムは日々変えていくが、そこには取り入れ内容を工夫している。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	集団活動として運動遊び、個別活動として利用者のニーズに合った内容を提供している。	
17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況や課題、相談した点もさわい者が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
22 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
23 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合」地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	医療的ケアが必要な子どもには必要ないが、必要に応じて連携した支援を行えるように意識している。	
24 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
25 移行支援として、療育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間立、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	相談支援専門員からの連携で情報共有の場を設けてもらっている。	
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	相談支援専門員からの連携で情報共有の場を設けてもらっている。	
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
28 療育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
29 「(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		事業所としては協議会への参加に興味はあるため、参加を検討中。
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通認識を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
31 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
33 児童発達支援ガイドライン(児童発達支援の提供すべき支援のねらい)や支援内容と、これに基づいて作成された児童発達支援計画(指示)を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
35 父母の会などの活動を実施し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		保護者会はないが、親子活動など保護者参加のイベントを開催し、家族間で交流する機会を設けた。
36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、関係機関と連携して対応し、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡先等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
38 個人情報取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
40 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年に1回以上訓練を行っている。	災害時の対応については保護者にお伝えしている。様々な事業所を利用している方が多く、緊急時の対応にもそれぞれあると思うので、浸透しづらいと感じている。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、誘導などの必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年に1回以上訓練を行っている。	火災、地震、災害等に関する訓練は行っているが、今年度はまだ実施できていないので、災害が起きたときにどう対応するかを改めて確認している。
43 事前に、監業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		ヒヤリハットを活用して、予測される事故を想定したり、リスクマネジメントをしている。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年に1回以上研修を行っている。委員会を設置し虐待防止に努めている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に反映している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		身体拘束を行う場合は手摺があること、慎重に行わなくてはならないことを理解している。身体拘束が必要だった事例はないため行ったことはない。